

9月13日  
市議選

略 歴

●1944年鉾山のマチ、秋田県花岡町生まれ、平在住。●秋田県立大館桂高校卒。●新日本婦人の会いわき支部事務局長などをとめ、夫とともに飲食店を経営、2男2女の母親。●いわき市議8期。●現在、生活と健康を守る会いわき支部事務局長。

「困ったときはあき子さん」  
この声にこたえ、再び市政へ

# 高橋 あき子

元市議会議員

日本共産党

活動  
地域

平、四倉、小川、久之浜、大久、川前、若葉台、常磐(上矢田、松久須根)、鹿島町、小名浜(玉川、住吉、野田、岩出、島、金成、岡小名、下神白、上神白、林城)、江名、折戸、中之作、永崎、洋向台、湘南台

私も一緒に市政で  
がんばります



党いわき・双葉地区副委員長  
かんの宗長

いわき市民新報

2020年7・8月号外  
日本共産党いわき・双葉地区委員会  
いわき市内郷小島町花輪16-1  
電話0246-27-5911  
日本共産党はいわき市議選の  
予定候補者と見解を発表しました。

新型コロナ・水害・原発から、いのちを守る政治へ

# 県政・市政にも力あわせま

## 事務所を震災センターとして開放

東日本大震災のとき、あき子さんの事務所は、震災救援センターとして、震災ボランティアを受け入れて、全国から寄せられた物資を届け、ガレキ撤去や泥だしなど、救援の拠点となりました。福祉の心をつらぬくあき子さんこそ、市政に必要です。(宮川えみ子)

## 苦しむ市民の力になりたい

4年前に市議を引退してからも、市民から困りごとの相談が続いています。コロナ対応、原発汚染水の海洋放出、水害被害——こんな政治を放置しているのか、苦しむ市民の力になりたいと決意しました。ご支援を心よりお願いいたします。

## 国保減免など、ためされずみの市議

あき子さんは、夫と食堂で働き、店を切り盛りし、子育てと経営の厳しさを体験してきた人。市議のとき、国保の相談会を開き、払いたくても払えない実態を告発し、所得が減ったときの減免制度を実現しました。再びあき子さんを市政に送ってください。

(吉田英策)



県議会議員  
宮川えみ子

県議会議員  
吉田えいさく

## 国・県・市へ求めます

- PCR検査の拡大、経営難の病院へ国が支援を
- 家賃補助などコロナ収束まで支援の継続を
- 密にならない手厚い教育へ、教員を増やし少人数学級を
- 学校給食費は無料に、子どもたちの貧困をなくす
- 河川しゅんせつ、堤防かさ上げ、排水ポンプ増設を
- 原発汚染水の海洋放出に反対、原発ゼロの日本を

今限りで市議を引退します。これまでのご支援に感謝いたします。高橋さんにバトンタッチします。今後ともよろしくお願いします。



市議  
坂本康一

市議  
溝口民子

市議  
渡辺博之